

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－	－
	○	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・来客数は、緊急事態宣言や、積雪、低温等天候の影響があった1月と比べるとやや改善しているものの、前月よりは減少している。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスにまつわる状況に左右されるが、3か月前と比べれば来客数は安定している。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年の緊急事態宣言のときよりも大分客が外に出るようになってきている。やっていいことと悪いことの分別がつくようになったようである。コンビニの数字は全体的に前年を超えており、特に来客数が良いようである。
	○	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・徐々にではあるが、ふだん着、休日の外出着用途でカジュアルウェア中心に高単価商品の需要が戻ってきている。一方、ビジネス用途での需要は依然厳しい状態である。
	○	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・前年と比べると売上は154%だが、前々年比では93%と例年の状況までは戻っていない。旅行や歓迎会、結婚披露宴等のイベント需要が全くない。
	○	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前は完全休業日がほとんどだったが、4月は平日の予約もあり、週末の予約も入ってきている。しかし、完全に良くなっているということではない。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・自粛疲れが景気の安定感につながっている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・コロナ禍のため来客数が減少している。しかし、買物に来ている客に買い控えなどはみられないため、景気は変わらない。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者が出たために、客先を積極的に回ることもできず、商品の回転はほとんどなく、非常に危機感がある。
	□	百貨店（買付担当）	お客様の様子	・前月から上向き傾向で徐々に持ち直してきていたが、全国的な新型コロナウイルス感染者数の増加が影響し、中旬から購買動向が鈍くなってきている。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前とそれほど変わりなく推移している。現在まだ新型コロナウイルスの影響があり、まだまだ客の動きが鈍いのが現状である。
	□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・県内の新型コロナウイルス感染者数が増加しており、夜の客はほとんどいなくなった。売上減少が依然続いている。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・非常にづらい冬場が終わり、これからというときに新型コロナウイルスのクラスターが発生してイベントが中止になってしまった。自粛モードなのか来客数も少ない。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年ほど新型コロナウイルスの影響は大きくはないが、来客数、販売量共に横ばいで推移しており、特に大きな変化はみられない。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・気温上昇に伴い、人の動きが多少多くなってきている。しかし、新型コロナウイルスの影響で以前の水準には戻っていない。
	□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年も新型コロナウイルスの影響があったため、3～4月と売上は前年を超えてきたが、来客数は前年を下回っている。来客数が回復しきっていない。
	□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年同時期は全国的な緊急事態宣言下につき、来客数の前年比は好調であるが、前々年比では割れている状況である。
	□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・依然として新型コロナウイルスの感染が続いているため、観桜会や地元の祭りも縮小や中止になり、人出が激減し売上も減少している。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で旅行もできないことが、洋服の購買意欲低下につながっている。また、まだまだ寒い日も多く、春夏物の動きが鈍い。	
□	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出により、都市部では休業を強いられる状況が発生している。外出自粛の状況もあり、厳しい状態である。	

□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・冷蔵庫や洗濯機など白物家電は単価が上がっているが、買上点数は減っており、客の財布のひもはやや固くなっているようである。黒物家電は有機ELなど単価の高いものは売れるが、販売量は前年よりも減ってきている。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売計画に対し実績は例年どおり推移しており、車のほかの附帯項目にも計画差異の大きいところはない。
□	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数は横ばい状態である。
□	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・景気が非常に悪くなっている。
□	その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・前年も新型コロナウイルスの影響で売上が減少したが、今年は更に減少している。例年であれば一番の繁忙期だが、数字が伸びないのは購入を控えたり新入社員が減少しているからと考える。
□	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の影響により、燃料消費は減少傾向にあるものの、大きな変動にまでは至っていない。
□	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・団体旅行の新規申込件数は皆無の状態である。新型コロナウイルス感染の収束とワクチン接種完了後でなければ団体旅行は発生しないと想定している。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染を免れるための外出控えが顕著になっている。しかし、買物でタクシーを利用する客の手荷物を見ると、高額な商品又は多くの買物袋を持っていることから、景気は悪い方向には向いていないと推察する。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・前月と同様、景気に上向き傾向はみられない。新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあり、緊急事態宣言が発出され、飲食店だけでなく関連する食品業界、仕入先も打撃を受けている。消費動向は下降気味であり、失業者も増えている状況である。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
□	観光名所（職員）	来客数の動き	・世の中の状況に振り回される形となっている。少し前までは県内客がよく来てくれていたが、県内一部地域に独自の緊急事態宣言が発出され客が来なくなった。その後、関東方面での発出もあり、そのたびに客が減っていくという状況である。
□	競艇場（職員）	来客数の動き	・前年は新型コロナウイルスの影響をまともに受けた年であり、3月になっても状況は変わらなかった。毎日同じ客が来場するのみで、新規客を呼び込むイベントを行っても余り効果はみられない。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・新規客は余りおらず固定客だけなので変わらない。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・賃貸管理物件では、特に飲食店で廃業に伴う空き物件が増えている。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器はエアコンの出足が良い。リフォームはハウスクリーニングなどの小工事が増えている。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・全国的に新型コロナウイルス感染者数が増加し、県内においても感染に対する警戒感が強まっており、景気は厳しい状況である。
▲	一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況の悪化による大都市の緊急事態宣言は地方にも影響があるとみられている。大型の集客施設ほど集客が厳しい状況にあるのはその表れだとみている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少が著しくなっている。原因が景気の悪化によるものか、あるいは新型コロナウイルス感染症予防で客が外出を控えているせいなのかははっきりしない。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・前年の緊急事態宣言下の買物動向と比較すると、明らかに節約、儉約の買い方が多くみられる。

▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・3月までは客単価が前年を超えていたが、4月に入り前年の数字を割るようになってきている。決して金額自体、客単価自体は下がっていないが、前年の数字が異常であったことの表れだとみている。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・前年の緊急事態宣言で来客数が伸長した反動もあるが、来客数の落ち込みが大きい。先行きの不透明感から、無駄な買物はなく買い控えもみられるなど、買物の仕方が慎重になっているようである。
▲	スーパー（営業担当）	販売量の動き	・前年の特需反動で客単価96%、買上点数94%になっている。来店頻度も下がっている。特にGroサリー商品の買い置きできる商品群の反動が大きい。前年不調だった総菜は大幅に伸長しているが、全体をカバーできていない。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・少しずつ人の動きが出てきたところで、新型コロナウイルスの感染拡大による規制が出て、またしばらくは減った。来客数の減少により売上も再度減少している。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・東北全体で見ても来客数が前年比10%以上減少している状態である。特に当県のまん延防止等重点措置適用や各県での新型コロナウイルス感染者数の増加により、人の動きが悪い状況である。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・4月上旬からの感染者数増加により、週末の来客数が著しく減少している。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半導体不足の影響により納期が掛かる車が出てきていることから、販売に結び付かないケースが出てきている。
▲	乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・当県がまん延防止等重点措置の適用を受けてから目に見えて新規客が減っている。大型展示場を有する地区への影響が大きい。特に中古車実績への打撃が深刻で、前年比6割と厳しい状況である。
▲	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・交流人口の減少による消費の落ち込みが大きい。また、4月は夜間の冷え込みが例年より少なく、灯油などの暖房消費も例年と比べ落ち込んでいる。
▲	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・例年、3か月前の期間は予約の少ない時期で、現在はゴールデンウィーク旅行、夏休みの先行予約等々で予約が大幅に増えていく時期である。しかし、今年の予約実数に関しては、3か月前よりは多いものの、例年と比べると大幅に少なくなっている。当県のまん延防止等重点措置の適用により、県外からの旅行者、県内の旅行者はいずれも3か月前より低調である。夏休み等先の旅行計画を立てづらいう状況にもあり、先行きの予約も極めて低調となっている。客との販売接点では、Webは一定程度盛況感があるものの、店頭販売は苦戦している。客の非接触意向が依然続いている状態である。
▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・飲食業、宿泊業は特に悪く、3回目の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により大型店舗の売上低下が予想されている。かなり厳しい状況である。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・今月に入り、新型コロナウイルスのクラスターが毎日のように発生している。それにより、県、市からの自粛要請もあり、経済活動や人の動きにも影響が出ている。特に客の消費意欲が大きく低下し、購買意欲が激減していることから、エンタテインメントサービスへの出費も控えられている。映像、通信サービスへの加入者も一時ストップしている。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・コロナ禍で客からの依頼も減っている。
▲	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言になり、日帰り来客数が激減している。宿泊はそこまでの減少はないが、直前のキャンセルはキャンセル料も掛かるため、そのままの客が多いのではないかと推測している。地元でも感染が広がっていて病床がひっ迫しているため、午前中に出掛け午後からは巣籠りをする傾向が広がっている。ゴールデンウィークなのに活気がない。

▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・イベントがなく移動の自粛で帰省も少ないため、来店サイクルが延びている。それにより来客数が減少している。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・当県においても新型コロナウイルスの影響は深刻で、どこにも出掛けられない、何もにぎわわない状況で、来客数も販売額もさっぱりである。
▲	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・年度が替わったばかりだが、今年度の売上を心配する会話が非常に多い。
▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・前年4月は緊急事態宣言で展示場を休業している期間があったため、来場者数は前年比では向上しているが、3か月前よりは総来場者数、新規来場者数が減少している。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのクラスターが発生している。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・4月は時間短縮営業が始まっており、20時には店の看板を消し、客には帰ってもらおう状況が続いている。前年よりも更にひどい状況で20時を過ぎると人が全くいない。大きなビルの看板だけは灯りがついているが個々の看板は全て消えており、繁華街は真っ暗になっている。タクシーも走っていない。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・春になり飲食店への販売量も少しずつ増加傾向にあったが、新型コロナウイルスの感染者が急激に増えたことにより、一気に人の動きが止まった。飲食店に関しては予約のキャンセルが相次ぎ、店によっては販売量がゼロに近い状態になっている。少し回復傾向になってきたところでの状況悪化のダメージは大きい。
×	百貨店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加によるまん延防止等重点措置の適用により、来客数が更に減少し、堅調な推移だった食料品にも影響が出ている。物産展期間に来客数は多少戻るものの、目的買いのため滞留時間も短い。
×	スーパー（経営者）	単価の動き	・4月は1品単価も前年並みに低下している。買上点数も来客数の前年割れ減少率と同程度に落ちてきている。客単価も初めて前年を割り出した。前年は巣籠り消費等で異常値があったが、前々年比でも下がってきている。消費者の財布のひもがかなり固くなってきている。良くない傾向にある。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が2度、3度と発出され、新型コロナウイルスに対する不安や不信が更に募って、自己防衛型、さらには節約志向という部分が顕著になっている。
×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・4月初旬までは悪くない状況であったが、まん延防止等重点措置適用以降は、出張が取りやめになったりイベントが中止になったりしたことが響いて客足が鈍くなっており、なかなか厳しい状況になっている。
×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・ビジネスマンの衣替えや行楽需要が減ってきており、来客数が大幅に減少している。
×	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・オーダーメイドの受注量の減少により、販売量が減少している。
×	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で高齢者は食料品以外の買物を控えているようなので、高齢客が多い当店の売上も伸び悩んでいる。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・4月前半は小康状態だったが、4都府県の3回目の緊急事態宣言や主要都市の酒提供の自粛要請などにより、後半は最悪の状況になっている。
×	その他専門店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・4月、新年度ということで人の動きも出てきて期待をしていたところだが、新型コロナウイルス感染症は収束がみえるどころか、拡大傾向にあり、観光客が動かない。客の話を聞いても、出歩きたくないという方が多い。
×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況の悪化やまん延防止等重点措置等の対策により、客足がかなり遠のいている。飲食店も一部休業が発生したり、土産品店がかなりの来客数不足に見舞われており、非常に厳しい状況にある。

	×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響に尽きる。
	×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・2020年7月以降で来客数が最も少ない。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月に入り来客数の減少が著しくなっている。20時までの営業ということもあり、ディナータイムはまだ1組の客も来ていないような状況である。大変厳しくなっている。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・まん延防止等重点措置により3月25日より現在まで休んでいるので売上はないが、ワクチン接種の進捗状態とまん延防止等重点措置の解除がいつになるかがポイントになる。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・客が全く来ない状態が続いている。店を開けたとしても、すぐに閉めなければならないので、客からも行きたくても行けないという声が多数聞こえてくる。苦しいが仕方がない。
	×	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・相変わらずエリア内での新型コロナウイルスの感染者数が増えているせいで、特に繁華街の夜の飲食店には足が向かなくなっている。これに伴いスナック関係からの来店や仕出し依頼も皆無となり、ますます厳しい状況となっている。
	×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・客の自粛だけではなく、新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置による時間短縮要請等があり、旅館側でも結果的に営業自粛せざるを得ない状況が続いている。
	×	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・引き続き5月もまん延防止等重点措置の延長により平日も休業となり、営業は週末のみに決定している。
	×	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置に緊急事態宣言、移動の自粛と、どうにもならない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・街中での客の消費行動をみると、時間的な余裕がない。しかも利用客が少なくなっている。そのため、我々タクシーの仕事が減ってきており、売上につながっていない。
	×	遊園地(経営者)	来客数の動き	・前年の緊急事態宣言による休業時に比べると、営業できているだけ良いが、新型コロナウイルス感染者数の推移を見ても分かるように、まん延防止等重点措置が適用されるような状況であり、コロナ禍前と比べると大変苦戦している。
	×	美容室(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染防止対策の渦中である。前年も悪かったため、前年比ではそこまでは落ちていないが、前々年比では80%を切るくらいである。客も警戒してリターンの期間が長くなっており、3月よりも更に悪くなっている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・官庁、民間案件共に大型案件を受注している。
	○	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用、緊急事態宣言を受けて、飲食店については来客数及び売上は減少しているものの、街中の人の流れは増えており、商品の販売量についても上向き傾向にある。
	○	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が予想よりも長く続いているため、回復に若干ブレーキが掛かっている印象を受けるが、回復基調なことには変わりはない。
	○	建設業(企画担当)	取引先の様子	・全体として極端に下がっている局面だという感じはない。売上高も3か月前と比べると上向きになっている。
	○	その他非製造業 [飲食料品卸売業](経営者)	受注量や販売量の動き	・当社のような卸売業でも、業種によって良い悪いがあるようである。業種によっては業務用の動きが悪いところもある。当社としては前年比をクリアしてやや良い方向にあるので、今の状況は良いと考えている。
	□	農林水産業(従業者)	それ以外	・今年も前年の今頃同様、新型コロナウイルスの影響で地元旅館宿泊利用者が非常に少ないと旅館の主が嘆いていた。
	□	農林水産業(従業者)	それ以外	・前年産米の米価下落で収入減少緩和対策が発動されれば、臨時収入を得られる。
	□	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いており、厳しい状況が続いている。

□	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・年度初めの仕事が前年より増え、前年比115%になっている。しかし、この後はイベント等の中止が続くため、前年並みまで落ち込みそうである。
□	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・前年、前々年と比較し、受注量が減少したままで回復していない。イベントの開催が復活しない限り、業況に変化はない。
□	電気機械器具製 造業（企画担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・世界的に半導体製品不足が続いているため、価格が安定しており業績に好影響を与えている。
□	電気機械器具製 造業（営業担 当）	それ以外	・新型コロナウイルスの終息が見られない。
□	輸送業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・国内貨物、輸出・輸入関連貨物の動きが共に良くない。ほとんどの品目において取扱数量が前年及び前々年を下回っている。4月の売上は前年比14%減、前々年比21%減の見通しであり、一向に景気回復の気配がみえない。
□	通信業（営業担 当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で客の消極性が増しており、反応が冷たい。
□	金融業（営業担 当）	取引先の様子	・飲食業、宿泊業は依然厳しい状況が続いている。建設業の一部では新型コロナウイルスの影響が少なく堅調な先もある。ただし、業種間で格差がある。
□	広告業協会（役 員）	受注量や販売量 の動き	・春の祭りや大型音楽イベントが前年同様中止となり、広告業界として向上く材料に乏しく、前年の緊急事態宣言下の状態と余り変わらない。
□	広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・新年度であり期待していたが、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言で出鼻をくじかれた。
□	その他非製造業 〔飲食料品卸売 業〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・4都府県の緊急事態宣言によって再び外食が停滞することになっている。
▲	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・3月上旬までは、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあったが、3月中旬以降、県内での感染拡大によるまん延防止等重点措置の適用、4都府県での緊急事態宣言発出があつてから人の動きが少なくなり、元に戻った感じがある。4月の売上は前年と比較すればよいが、前々年と比べれば半分程度である。厳しい状況は変わらない。
▲	窯業・土石製品 製造業（役員）	受注量や販売量 の動き	・官需、民需とも低調である。新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、幅広い業種で影響が出ている。一方でガソリン等の高騰が続いており、コスト増への不安もある。
▲	金融業（広報担 当）	取引先の様子	・県内での新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、各地の春祭りやイベントの中止、クラスター発生などにより、観光や飲食業界のみならず全体的な消費マインドへの負の影響がみられる。巣籠り需要の取り込みにより一部業種は好調であるが、地域の景気浮揚までには至っていない。
▲	広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の関係でイベントなどの中止が相次いでいるため、受注量が減っている。
▲	経営コンサルタ ント	それ以外	・首都圏の緊急事態宣言が東北に及ぼす悪影響が拡大しつつある。
▲	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算処理状況から判断している。新型コロナウイルスの影響で飲食業、小売業、サービス業の業績が悪化している。建設業関係は一定の売上、利益を確保しているが、全体としてはやはり景気が落ち込んでいるとみられる。
▲	コピーサービス 業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・ここに来て新型コロナウイルスまん延の影響が出ている。商談のための面談ができず、客とのコミュニケーションが取りづらくなっている。やはり対面でないと詳細な部分のニュアンスが伝わりにくい。
▲	その他企業〔企 画業〕（経営 者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染防止に伴う県境往来自粛の影響が、町内の多くの旅館で予約キャンセル多数という形で出ている。
×	輸送業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・当県へのまん延防止等重点措置の適用と、3度目の緊急事態宣言により、取り巻く環境は悪化している。

雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・2～3月の震度6と5の地震に伴う損害保険各社からの大口受注がこの3月期決算に大きく寄与している。3月単月で創立初の月商を達成し、通期でもこれまでにない売上を記録している。
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染の収束後を見越した募集が増えてきている印象を受ける。
	○	アウトソーシング 企業 (社員)	それ以外	・会議などがWe bを使って再び開催されるようになってきている。
	○	新聞社 [求人広 告] (担当者)	それ以外	・飲食店は依然厳しい状況が続いているが、県民限定の宿泊プランの広告が増加するなど、観光関連の動きが活発化している。
	○	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で増加している業種が増えてきている。
	○	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・3か月前と比較して、新規求人数は約600人増加、有効求人数は約700人増加している。
	□	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・特に小売業中心に派遣社員や正社員、アルバイトの募集が少なくなってきた。ウィズコロナという形ですべて下げ止まっているという印象を持っている。
	□	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・良くも悪くも変化がない。
	□	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・訪問企業でも、県内での新型コロナウイルス感染者数の増減やワクチン接種のスケジュールによって業績が左右されるとの認識を持っているようである。
	□	新聞社 [求人広 告] (担当者)	周辺企業の様子	・飲食店や、土産品に関わる企業を含む旅行関係では新型コロナウイルスの影響が壊滅的といえるほど出ている。また、イベント運営を請け負う当社のような業態も厳しい状態が続いている。反面、日用品、いわゆるスーパーマーケットや高級食材販売などは好調に推移しているようである。酒類販売も割合価格帯の低い酒類から、多少高額な酒類を求める客が増えている傾向にあるようである。家具販売では、新型コロナウイルス対策をしっかりと行いながらフェアを開催したところ、過去最高の売上につながったそうである。完全に二極化している。
	▲	職業安定所 (職 員)	周辺企業の様子	・大型建設工事に伴い、作業員の宿舎や食事の需要で新型コロナウイルスの影響が最小限に抑えられていた宿泊業や飲食業が、工事終了が近いことで先行きが不透明になっている。
	▲	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出始めた前年よりも求人募集が少なくなっていることに加え、仕事を探している人の減少幅が小さい。
	▲	民間職業紹介機 関 (職員)	雇用形態の様子	・改正労働者派遣法により都道府県別最低賃金以上の業種別最低賃金が毎年引上げとなり、人件費がかさんでいく。
×	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・いまだ継続的に新型コロナウイルスの影響を受けており、トンネルの出口がみえない状況である。	